

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第4回武蔵村山市健康増進計画・食育推進計画策定懇談会
開 催 日 時	令和3年11月17日(水) 午後1時30分～午後3時00分
開 催 場 所	市民総合センター生涯学習活動室学習室 (ハイフレックス型)
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口委員、成田委員、田中委員、藤本委員、垣委員、原田委員、宮下委員、井波委員、江川委員、安部委員 欠席者：指田委員、吉村委員 事務局：健康推進課長、子ども子育て支援課長、健康推進課健康推進係長、同課健康推進係主任、子ども子育て支援課母子保健係係長、同課母子保健係主任2名、委託業者1名
議 題	報告事項 (1) 第3回武蔵村山市健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議結果について (2) 武蔵村山市第三次健康増進計画・食育推進計画のタイトルについて (3) その他 議題 (1) 武蔵村山市健やかプラン (素案) について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題(1)について： ・「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」の目標値は、「いる人」という表現ではなく、「持つ人」にするなど表現を工夫する。 ・事業名や本文中の「フードバンク」の表記に「フードドライブ」の表記を追加する。 ・健康ポイントについて今後市として検討していく。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (○=委員、 ●=事務局)	報告事項 (1) 第3回武蔵村山市健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議結果について ● 資料1「第3回武蔵村山市健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議録」について説明 (一同異議なし) (2) 武蔵村山市第三次健康増進計画・食育推進計画のタイトルについて ● 「武蔵村山市健やかプラン」とすることを策定委員会に提案し、了承されたことを報告 (一同異議なし) 議題 (1) 武蔵村山市健やかプラン (素案) について ● 資料2「武蔵村山市健やかプラン (素案)」について説明 ○ アンケートの数値だけを良くしたいのか、市民の健康や子育てをフォローしていくのか。アンケートの数値をアップしたいのならキャンペーンをしたらどうかと話したが、キャンペーンをすると数値は伸び、知識も身につくが、実際、市民による取組はできてないと思う。どちらを目指しているのか。 ● 健康増進計画については、市民の方に健康になっていただくのが最終的な目標である。健康につなげるためにどういった取組を行っていくのかを細かく設定をしているところである。単純に教室の参加者を増やせば良いのか、増えることで健康に関

する意識変容があれば、実際に健康に関して何かしら効果が現れるということを見込んでいる。認知度を高めていただき、参加者を増やすということは最終的な目標に向けての第一歩と考えている。単純にアンケートの項目として数値を良くしたいということではなく、その先にある健康に繋げるために取組を実施している。医療費の金額や数値を確認することで改善したと確認できる項目も複数あると認識しているので取組を推進していきたい。

- 健康づくりが目的化すると長続きしないと思う。どうしたら長続きするか、どのように動機付けをするか、その期間をいつまでとるか、楽しさを含めて前向きな取組が必要だと思う。
- 今後アンケートを行う際にそのことを考慮していただくと良いと思う。楽しさをとるのか、知識を得るためにやるのか、事業目的も様々だと思う。各事業を実施する際にご意見を参考にしつつ、事業評価するときに目的と効果を確認してほしい。
- 介護保険の申請の際、主治医意見書が必要になるため、今後、高齢者が増えていくことを考えるとかかりつけ医は自然と増えていくと思う。かかりつけ歯科、かかりつけ薬局は今後も変わらないのではないかと思う。
- 患者が話をすることができるということで薬局の薬剤師を選んでもらって構わないと思う。
- 自分の行きやすい、アドバイスをもらえる薬局をかかりつけ薬局にしていれば良いと思う。
- なぜフレイルを予防しなければいけないのか。厚生労働省の試算で2025年問題、2040年問題の年になると介護職員が足りなくなると言われている。そうなったときに日本の高齢者をだれが見ていくのかというと、アメリカ方式で、自分の体は自分で守る形をとる必要があるのだと思う。そこで、健康ポイントの導入が重要になると思う。ただし、アプリを活用して計測したウォーキングの歩数でポイント還元を行うのはスマホ普及率を考えると難しいと思う。ウォーキング教室は、各方面で開催しているウォーキング活動等を市でまとめて市のまちおこしとして開催することはできないか。全て参加すると地域で使える商品券を配るなどできると良いと思う。皆が参加できる方が平等になるのではないか。
- 高齢化が進む中で問題になっているのが、心身機能が徐々に低下していくフレイルだと思う。フレイルは元気な状態に戻ることができる可逆性の特徴を持っている。フレイルの状態になった後でも、ポイントを押さえて取り組めば元気な自分に戻ることができるということが周知されないため、用語の認知度向上や活動の推進が言われているのだと思う。ウォーキングを通じて、コミュニケーションを増やし、健康を取り戻す、食事を通じて健康になるなど様々なやり方で取り組むことができる。
- 各課で事業を進めていくときに、このような意見を参考にさせていただきたい。環境づくりの記述がこの計画内では読み取れない部分がある。今後の課題としてそこまで踏み込んで市民一人一人が健康になっていけるように市で評価をしたり、今後の新しい事業展開をするときに考えてもらえたら良いと思う。
- 事業を実施するに当たり、キャンペーンやポイント導入でどの程度の結果が出ているか、何がどの程度良くなっているかが分かると、事業を実施する者のモチベーションにつながり、実施していることを市民にアピールできると思う。そのようなことが本計画に入っていると良いと思う。健康教室や骨粗しょう

症教室などの参加者は基本的には意識の高い人であるため、参加しない人をどの程度掘り起こせたのかが見えると良いと思う。

- 健康教室や骨粗しょう症教室においても、意識の高い方が参加されていると感じている。関心がない方をどのようにつなげていくのが非常に重要になっていくと市でも考えている。今回の計画においても、健康教室の目標として、新規参加者の割合を加えている。市の事業であるため、公平性のあるきっかけづくりとして、常に関心を持っていただけて、今まで参加したことがない方にも参加してもらえらる仕組みづくりができると良いと考えている。地域資源を活かしながら、市や教育委員会の重複部分は整理をして、さらに大きなイベントにするなど、色々なやり方があると思う。具体的な部分については考えながら進めていきたい。
- P84の目標値だが、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」の「いる人」という表現に違和感がある。「持つ人」にするなど表現を工夫してほしい。
- 表現は整理して改めたい。
- 本計画における「かかりつけ薬局」とは、気軽に健康や薬について相談ができる身近な薬局という認識で問題ないか。
- 問題ない。健康サポート薬局が「かかりつけ薬局」ということではない。
- P81「悩みや不安を感じた時に相談できる人がいる割合」の目標は包括的な目標になっていると思う。P79、P80の「市が行う主な取組」、「市民・地域・関係団体等の取組」から直接的な関連性が見えない。市の取組の中では、相談を充実していくという考えを包括した目標という捉え方で良いか。
- 良い。
- 目標値が今ある事業の一つではなく、様々な事業と関連していると思う。
- 東京都からのヒアリングで、スポーツの実施率を70%に上げるようにと要請を受けた。今後どうしたら良いかというのが悩みである。
- P56「1 生涯を通じた食育の推進」の「本市では、食品ロスの削減に向けて、フードバンクの周知、活用の提案を行っています。」のフードバンクとはフードドライブのことか。P58「10 フードバンクの取組」の事業の概要の「食品ロス削減に向けた取組として、各種イベント等を通じて、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらを福祉団体や施設に寄附します。」はフードドライブを指していると思う。
- フードバンクとは未使用の食品など集めておくということで、それを循環させるのがフードドライブである。前回の計画の時にはフードドライブの取組としているため、これはフードドライブに修正する。
- 本会議でフレイルについて学び、ラジオ体操に参加するようになった。市内でラジオ体操を実施している所はあるのか。
- 一番大きい規模では大南公園で実施している。参加者は90人程度である。二番目は三ツ藤の公園で参加者は30人程度である。市内で大きく実施している所は3か所程度である。
- グラウンドゴルフなどをやることも大事だと思うが、高齢になると、身近に運動できる場が増えると運動をしやすくなるのではないかと思う。
- 高齢の方がどこで何をやっているのか情報を入手できるよう

	<p>な何かはあるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な所で気軽に運動できる場所やコミュニティがあると、気構えずに参加ができて健康にも繋がるので大切なことだと思った。現在、体育協会や自治会など様々な主体の方が市を介さずに様々な取組を実施している。なるべく市民の方がそのような情報に触れる機会をつくれるような工夫を考えていきたい。</li> <li>○ 健康ポイントについて、公平性という面で工夫が必要と思う。若い世代ほどSNS等に慣れている人が多いと思う。若い人の評価点が不足していると思うのでそういった人が積極的になりやすい手法を考えていくことが大切だと思う。</li> <li>○ 皆、健康ポイントについて前向きな意見を持っているので、今後どうしていくのか市で検討していただきたい。</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後のスケジュールだが、本日いただいた意見を反映した計画素案を座長、副座長に確認していただき、懇談会としての素案を市長に報告していただくことになる。その後、策定委員会を始め、庁内の関係会議を開催し、12月10日から1か月間、パブリックコメントを実施し、市民の方から意見公募を行う。パブリックコメントの周知方法は、12月1日号の市報に掲載するため、市内にお住まいの方はご確認いただけると良いと思う。また、市のホームページや市政情報コーナーなど、市内の公共施設に素案を備え置き、閲覧ができるようにし、意見をいただける体制をとっている。</li> </ul> <p>年明け、パブリックコメントの結果を踏まえ、市長に報告し、原案決定となる。その後、市議会議員への説明や市としての最終決定ということで、必要な手続きを順次進めていく。策定懇談会委員へは、計画書が成果品として完成したら、改めて送付をする。</p> <p>閉 会</p> <p style="text-align: right;">— 以 上 —</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公 開  <input type="checkbox"/> 一部公開  <input type="checkbox"/> 非 公 開  ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： 0 人</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開 示  <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： )  <input type="checkbox"/> 非 開 示(根拠法令等： )</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部 健康推進課(内線：212)</p>
--------------	----------------------------

(日本産業規格A列4番)